



WAVE 53号

ウェーブ

川越市で地域主体のワーカーズ誕生

川越市は2011年度からワーカーズ・コレクティブへの支援政策を行っています。埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会と提携し、ワーカーズの起業講座を続けてきました。事務局体制を整えた連合会が、そこで蒔いた種に情報を与え、仲間集めの応援をして、一つの芽ぶきを支えました。

公的サービスだけでは安心な社会は築けない

昨年、川越市で開催された起業相談会に参加されたかすみ野に住む、田中和子さんは、長い間介護保険事業所で仕事をしてきました。

介護の社会化を謳い、施行された介護保険制度は10年がたちました。単価が安い家事支援はどんどん削られていく過程を見て、田中さんは、介護保険だけではこの超高齢社会は乗りきれないことに気づきました。ご自身の住む、かすみ野の地域は、高齢化の進行が著しく、介護保険から漏れてしまうニーズに対応するインフォーマルなサービスをつくる必要を感じていました。私たちワーカーズ連合会は、仲間集めのお手伝いをし、5名の方々が名乗りをあげました。

市民の小さなニーズに応え、安心できる地域社会をつくりたい、ヘルパー資格を生かしたいなど、メンバーが集まる会議を月2回開催し、意思が固まり、ワーカーズ準備会「ま・た・ね」が発足しました。

中間支援組織として連合会が起業を後押し

起業までを支援する連合会には、38団体が集っています。事業を立ち上げた38の事例があり、様々な経験に基づくノウハウが集まっています。20数年の事業実績があるワーカーズもあります。福祉に関するワーカーズは8団体あり、その8部のパンフレットは「ま・た・ね」の立ち上げに大いに参考になりました。



「ま・た・ね」出来立てのパンフレット

今後、「ま・た・ね」の事業開始まで、事業計画の策定、法人格の取得、組織運営、など次々に課題が出てきます。連合会に集う38のワーカーズの事業実績やノウハウを存分に生かし、引き続き設立支援を継続していきます。

ワーカーズだからできること

誰もが安心して暮らせる地域社会は、残念ながら自ら動かなければ、叶うものではありません。私たちは、幸い、ワーカーズ・コレクティブの働き方と作り方を知っています。市民が必要とするサービスを市民の協同で興す事業はハードルも低く、働きやすさとやりがいを感じられる働き方です。川越市の福祉ワーカーズの発足は、市民の生活にきっと役立つことと思います。

「ま・た・ね」はまだこれから組織を作り上げていく段階です。川越市内にお住いのみなさん、地域の隅々、そこに暮らす人々に思いを馳せ、安心できる地域社会づくりのために、ワーカーズに参加しませんか。

事務局 浅草秀子